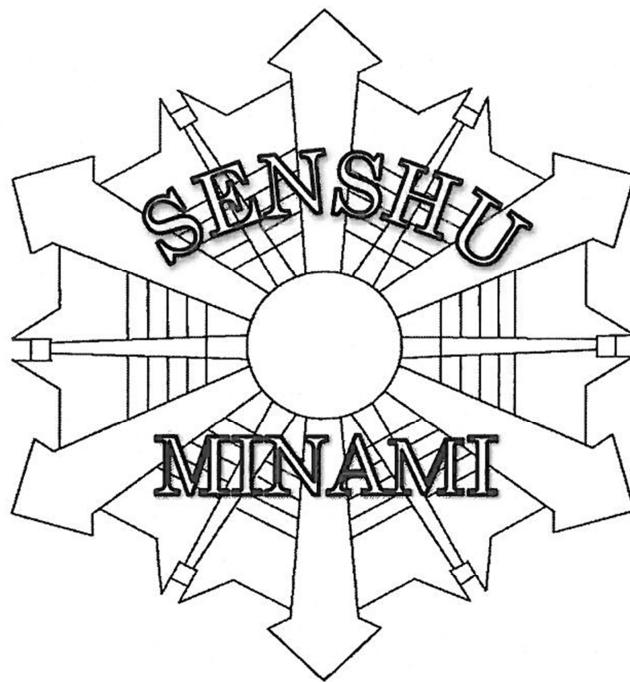


泉州南消防組合個別施設計画



令和 3 年度

泉州南消防組合

(令和 5 年 12 月一部改訂)

目次

第1章 計画策定の概要

1	計画策定の背景と目的	1 頁
2	計画の位置付け	2 頁
3	計画期間	2 頁
4	対象施設	3 頁

第2章 施設の現状

1	優先順位の考え方	4 頁
2	耐用年数の考え方	5 頁
3	施設の状態等	6 頁

第3章 施設への対策

1	対策の内容	25 頁
2	年度毎の改修等費用	31 頁
	【改訂履歴】	32 頁

第 1 章 計画策定の概要

1 計画策定の背景と目的

本消防組合には、平成 24（2012）年の組合設立以前の 4 消防本部（泉佐野市消防本部、泉南市消防本部、熊取町消防本部、阪南岬消防組合消防本部）で整備した庁舎が多く、今後、老朽化に伴う大規模改修や更新等の時期を順次迎え、多額の費用が見込まれる状況にあります。

このような状況に対して、特別地方公共団体である一部事務組合を含めた各地方公共団体は、「公共施設等総合管理計画」及びこれに伴う「個別施設計画」を、インフラ長寿命化基本計画（（平成 25（2013）年 11 月 29 日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）以下、「長寿命化計画」という。）を参考に策定し、公共施設等の総合的適正管理の取組みを進めることとなっていることから、本消防組合においても、令和 2（2020）年 10 月に「泉州南消防組合公共施設等総合管理計画」（以下、「管理計画」という。）を策定しました。

また、平成 29（2017）年 3 月 30 日付け、消防総第 198 号「消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合において個別施設毎の長寿命化計画の策定依頼について（依頼）」において、公共施設等総合管理計画策定後は速やかに個別施設毎の長寿命化計画（以下、「個別施設計画」という。）を策定するよう求められています。

これらのことから、消防組合が保有する消防施設等を消防力の適正配置など、他の計画を踏まえた中長期的な視点に立って、更新や施設の維持管理などの方針の優先度を設定し、災害時の活動拠点となる重要な消防施設の整備をトータルコストの縮減や予算の平準化を図りつつ、的確に維持管理・修繕を行うことを目的として本計画を策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画は、消防施設等の更新、長寿命化等にあたっての基本的な取組みの方向性を示した管理計画を踏まえ、施設毎の維持管理や更新計画等の具体的な施設の整備方針を示すものです。

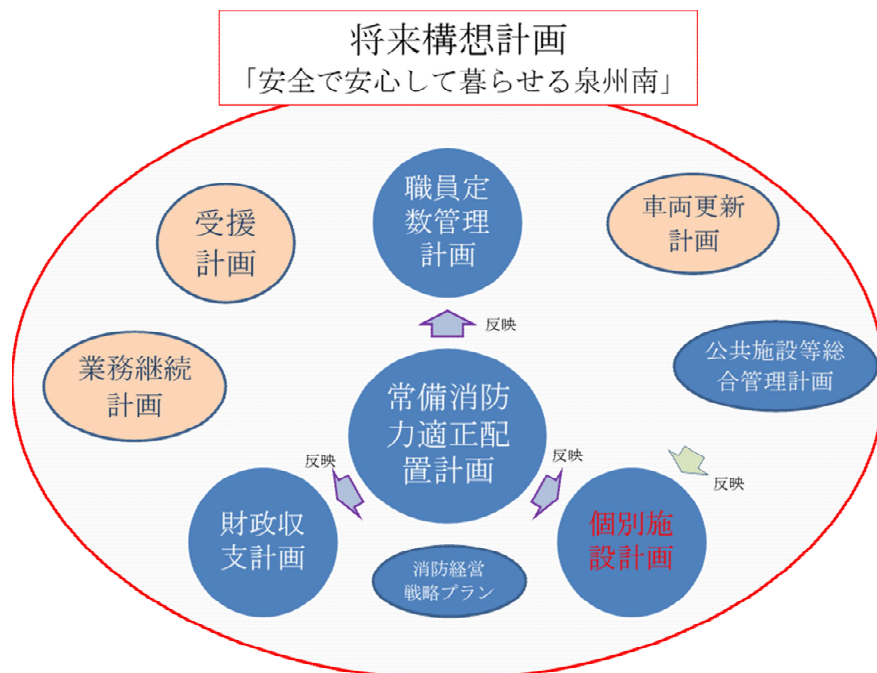
国の長寿命化計画においては、管理計画の下位に位置付けられる「個別施設計画」として策定するものです。

3 計画期間

本計画の計画期間は、令和4（2022）年度から令和10（2028）年度までの7年間とします。

これは、消防組合の上位の計画であります「泉州南消防組合第1次将来構想計画」の計画期間と整合を図るものです。

なお、管理計画と同様に、消防需要の変化による他の計画の内容見直しや構成市町の財政状況を鑑みながら、必要に応じ適宜見直しを行っていくものとします。



4 対象施設

本計画の対象は、消防組合が保有する施設等とします。

ただし、管理計画に記載した施設に加え、現在運用中の高機能消防指令センターの更新に際しては、庁舎の改修、新設も併せて検討することが合理的であると考えられることから、同センターにかかる設備も計画に加えたものとしています。

なお、泉佐野消防署田尻出張所及び岬消防署庁舎は、それぞれ田尻町及び岬町からの借用となっていますので更新、長寿命化等の取組みについては個別に協議を行います。

施設名	建築年 (年)	構造	経過年 (年)	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
泉州南広域消防本部 泉佐野消防署	1996	P R C造	2 5	4, 491. 70	2, 403. 52
同上 訓練塔	1996	R C造	2 5	181. 50	
泉佐野消防署日根野分署	2018	S 造	3	255. 76	801. 42
泉佐野消防署上瓦屋出張所	1990	R C造	3 1	362. 40	714. 81
泉佐野署田尻出張所	1988	R C造	3 3	359. 86	331. 91
泉佐野消防署空港出張所	2005	S 造	1 6	1, 410. 93	1, 645. 88
泉南消防署	1976※	R C造	4 5	1, 073. 31	2, 152. 22
泉南消防署砂川出張所	1982	R C造	3 9	379. 80	3, 309. 80
熊取消防署	1984	R C造	3 7	1, 126. 61	1, 305. 32
阪南消防署北分署（旧阪南消防署）	1977	R C造	4 4	1, 077. 47	2, 485. 14
阪南消防署（旧阪南消防署南西分署）	2018	R C造	3	1, 639. 88	4, 000. 37
同上 訓練塔	2018	R C造	3	387. 71	
岬消防署	2001	R C造	2 0	1, 427. 76	1, 480. 35
高機能消防指令センター	2016	—	5	—	—
耐震性防火水槽 40 t（5基）	1994	—	2 7	—	—

経過年は、2021 年時点

※泉南消防署については昭和 41（1966）年に建築ですが、その後の大規模増改築年を建築年としています。

※高機能消防指令センター及び耐震性防火水槽の建築年の欄は、整備年となります。
※耐震基準に関しては、旧基準（昭和 56（1981）年以前）の施設はすべて耐震化が完了しています。

第2章 施設の現状

1 優先順位の考え方

泉州南消防組合第1次将来構想計画で示しているとおり、住民が「安全で安心して暮らせる泉州南」の実現のため、消防力の充実・強化を図っていきますが、その中で災害対応の拠点となる消防庁舎の整備を行います。

厳しい財政状況や人口の変動等により変化する消防需要を見据えつつ、適正配置を踏まえた庁舎の更新、統廃合、長寿命化なども考慮するとともに、次の項目を更新、整備にあたっての基本的な考え方とします。

(1) 適正配置により管内全体の消防力の向上や運用効果の改善等につながる施設については、その効果を早期に発現させられるよう、耐用年数を経過していなくても整備を考慮することとします。

(2) 上記以外の施設については、耐用年数の延伸（長寿命化）のために屋根や外壁等、管理計画に記載の部位及び設備について、予防保全を実施するとともに、改修費用や既存庁舎の建替時期の平準化を図ることとします。

※ 予防保全の対象部位及び設備

屋根（屋上防水含む）

外壁（タイル・鋼製パネル・シーリング等）

外部建具（オーバースライダー等）

受変電設備

非常用発電設備

空調設備

(3) 長寿命化をはじめとする庁舎の改修時には、ユニバーサルデザイン化の推進として、バリアフリー化（トイレの洋式化、スロープの設置等）のための整備を考慮します。

(4) 庁舎の改修や建て替えを行う場合には、泉州南消防組合特定事業主行動計画に掲げる本消防組合の女性職員の割合の引き上げのため、女性職員が交替制勤務を行うことができる施設の拡充を図ります。

2 耐用年数の考え方

- (1) 構造躯体の法定耐用年数は、減価償却資産の耐用年数等に関する省令における法定耐用年数により、鉄筋コンクリート造で 50 年、鉄骨造で 38 年となっています。

本消防組合における鉄筋コンクリート造の目標耐用年数は、「建築工事標準仕様書（JASS5 鉄筋コンクリート工事・日本建築学会）」で基本仕様（標準）のコンクリートは 65 年と述べられていることから、海岸に近い地域にあつては、60 年、その他は原則 65 年とし、鉄骨造は現状施設の立地特性を考慮し、50 年と定めます。

- (2) 予防保全を行う主要部位や設備の目標耐用年数は、「建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）や他の自治体などの設定状況を参考にし、次の表のとおりとします。

項目	目標耐用年数
屋根（屋上防水含む）	20 年
外壁（タイル・鋼製パネル・シーリング等）	15 年
外部建具（オーバースライダー等）	15 年
受変電設備	25 年
非常用発電設備	30 年
空調設備	20 年

3 施設の状態等

(1) 消防本部・泉佐野消防署／訓練塔

位置：泉佐野市りんくう往来北1番地の20

建築年：平成8（1996）年

敷地面積：2,403.52㎡

延べ床面積：4,491.70㎡／181.50㎡

構造：プレストレストコンクリート造5階建

／鉄筋コンクリート造6階建

整備方針：長寿命化を図りながら維持管理を行いますが、将来的には消防力の適正配置計画及び令和2年8月に高潮浸水想定区域に当庁舎が指定されたこと、並びに管内の消防需要などを踏まえ、現状よりも南東方面（より内陸部側）に移転を検討。



庁舎は築25年が経過し、外壁シーリング部分の劣化が進み、強風を伴う降雨では数か所から雨漏りが発生している状況です。また、受変電設備をはじめとする多くの電気設備の老朽化が進んでいます。

高機能消防指令センターを有する施設でもあることから、電気設備については改修・更新などにより早期の対応が必要です。

将来的には管内の消防需要などを踏まえ、現状よりも南東方面（より内陸部側）に移転を検討。

消防本部・泉佐野消防署

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋上防水（陸屋根） 経年劣化（シーリング材）	C
	・ 外壁（タイル張り） 経年劣化（シーリング材）	C
	・ 外部建具（シャッター 2 基、オーバースライダー 4 基） 経年劣化	B
	(訓練棟)	
	・ 屋上防水（陸屋根） 経年劣化	—
設備	・ 外壁（コンクリ打放し） 経年劣化（クラック）	—
	(庁舎)	
	・ 受変電設備（平成 8（1996）年設置） 著しい経年劣化	A
	・ 非常用発電設備（屋外タンク含み平成 8（1996）年設置） 著しい経年劣化（令和 2（2020）年タンク架台錆補修済み）	A
	・ 蓄電池設備（平成 8（1996）年設置） 著しい経年劣化	A
	・ 空調設備 著しい経年劣化（平成 30（2018）年部分改修実施済み）	B
	(訓練棟)	
	・ 空調設備（無線機械室）	—

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- ：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(2) 泉佐野消防署日根野分署

位置：泉佐野市日根野3469番地

建築年：平成30（2018）年

敷地面積：801.42㎡

延べ床面積：255.76㎡

構造：鉄骨造平屋建

整備方針：長寿命化を図りながら維持管理



広域消防運営計画に基づき泉佐野市と泉南市の境界付近の消防力の充実強化のために建設された庁舎で、規模も小さく大きな設備はないが、この場所に分署を配置しておく必要性は高い。

将来的には社会情勢などを考慮し、統廃合・移転整備の可能性を含めて検討する。

泉佐野消防署日根野分署

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋上防水（陸屋根）	—
	・ 外壁（吹付け仕上げ）	—
	・ 外部建具（オーバースライダー 2 基）	—
設備	(庁舎)	
	・ 空調設備	—

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- ：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(3) 泉佐野消防署上瓦屋出張所

位置：泉佐野市上瓦屋４５５番地の３

建築年：平成２（１９９０）年

敷地面積：７１４．８１㎡

延べ床面積：３６２．４０㎡

構造：鉄筋コンクリート造２階建

整備方針：長寿命化を図りながら、将来的には現在地での更新を基本に
検討



経年劣化により、衛生設備、内装等の大規模改修を実施する必要があるが、補修を行いながら維持管理している状況である。

立地的には大阪外環状線と第二阪和国道の交差点に近く、災害出動に適した場所であることから、現在地での更新を検討する。

泉佐野消防署上瓦屋出張所

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋根（勾配屋根） 経年劣化（平成 30（2018）年一部補修済み）	C
	・ 外壁（タイル張り） 経年劣化	C
	・ 外部建具（オーバースライダー 2 基） 経年劣化（1 基は令和 3（2021）年に改修済み）	B
設備	・ 敷地内フェンス基礎 基礎部分破損により傾斜（一部）	B
	(庁舎)	
	・ 空調設備 著しい経年劣化（一部改修済み）	C
	・ ホース乾燥塔 経年劣化	C

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- －：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(4) 泉佐野消防署空港出張所

位置：泉南郡田尻町泉州空港中1番地

建築年：平成17（2005）年

敷地面積：1,645.88㎡

延べ床面積：1,410.93㎡

構造：鉄骨造2階建

整備方針：長寿命化を図りながら維持管理



関西国際空港島開港時に建設され、その後の二期島開港時に移転・新築された庁舎であり、常備消防力として島内全域の救急対応、航空機災害をはじめとする各種災害対応のために必要性にあっては検討の余地のないところである。

インフラ設備は、空港島内の規定に従って整備されており、今後も規定に従って維持管理をしていく必要がある。

泉佐野消防署空港出張所

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋上防水（陸屋根） 経年劣化（シーリング材）	C
	・ 外壁（吹付け仕上げ） 経年劣化（軽度クラック、シーリング材）	C
	・ 外部建具（オーバースライダー 4 基） 経年劣化（令和 3（2021）年一部改修済み）	C
設備	(庁舎)	
	・ 受変電設備（平成 17（2005）年設置） 経年劣化	C
	・ 非常用発電設備（平成 17（2005）年設置） 経年劣化	C
	・ 空調設備 経年劣化	C

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- －：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(5) 泉南消防署

位置：泉南市信達市場2012番地の1

建築年：昭和51（1976）年

敷地面積：2,152.22㎡

延べ床面積：1,073.31㎡

構造：鉄筋コンクリート造2階建

整備方針：補修、修繕により維持管理を行い、将来的には現在地付近での移転・建て替えを検討

目標時期：高機能消防指令センター設備の更新に併せて検討



本消防組合で最も古い庁舎であり、近年では外壁塗装の劣化など多くの不具合が発生しており、補修しながら維持管理している状態である。

整備方針のとおり移転・建て替えを検討するが、建物規模・位置については高機能消防指令センター設備の移設・更新、管内の署所との位置関係、人口動態等を考慮したものとする。

泉南消防署

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋上防水（陸屋根） 経年劣化（都度補修を実施）	C
	・ 外壁（吹付け仕上げ） 経年劣化による塗装剥離（東側）	B
	・ 外部建具（オーバースライダー 3 基 平成 28（2016）年設置）	—
	・ 内壁 経年劣化（クラック）	C
設備	・ 敷地舗装 経年劣化（ひび割れ）	C
	(庁舎)	
	・ 受変電設備（平成 16（2004）年設置） 経年劣化	B
	・ 非常用発電設備（平成 16（2004）年設置） 経年劣化（外装錆）	B
	・ 空調設備 順次更新中	—

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- ：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(6) 泉南消防署砂川出張所

位置：泉南市信達市場 9 1 6 番地の 1

建築年：昭和 5 7 (1 9 8 2) 年

敷地面積：3, 3 0 9 . 8 0 m²

延べ床面積：3 7 9 . 8 0 m²

構造：鉄筋コンクリート造 2 階建

整備方針：長寿命化を図りながら、将来的には現在地での更新を基本に
検討



管内の中央東側に位置し、また府道 30 号線に近く道路状況等から勘案しても現在位置に拠点を配置しておく必要性は高いと考える。

築 3 9 年が経過し全体的に老朽化がみられ、特に内装について老朽化が著しく、改修が必要となっている。

泉南消防署砂川出張所

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋上防水（勾配屋根） 平成 28（2016）年改修済み	—
	・ 外壁（吹付け仕上げ） 平成 28（2016）年改修済み	—
	・ 外部建具（オーバースライダー 1 基） レール錆	C
	・ 内装 クラック、ひび割れ、浮き	C
設備	・ 敷地舗装 ひび割れ	—
	(庁舎) ・ 空調設備 順次更新中	—

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- ：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(6) 熊取消防署

位置：泉南郡熊取町野田1丁目1番19号

建築年：昭和59（1984）年

敷地面積：1,305.32㎡

延べ床面積：1,126.61㎡

構造：鉄筋コンクリート造3階建

整備方針：長寿命化を図りながら将来的には建て替えを基本に検討。

建て替えの際には近隣署所の配置状況や市街地状況を考慮し現在地より南東側に移転を検討



築37年が経過し、屋上及びガレージ上の防水の劣化、内壁のクラック、訓練塔の錆等の補修が必要である。

大阪外環状線に面し、出動には適しているが同道路の状況、管内の署所の配置状況をみると、将来的には現在地より南東側に移転・建て替えを検討する。

熊取消防署

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎) ・ 屋上防水 (陸屋根) 経年劣化 (シーリング) ・ 外壁 (タイル張り) 平成 25 (2013) 年から 3 箇年で改修済み ・ 外部建具 (オーバースライダー 2 基) 平成 28 (2016) 年改修済み ・ 内壁 経年劣化 (クラック・塗装剥離多数) (訓練塔 鉄骨造) ・ 鉄骨 経年劣化 (錆) ・ 敷地内舗装 経年劣化 (車庫前)	C — — C B C
設備	(庁舎) ・ 受変電設備 (平成 17 (2005) 年設置) 経年劣化 ・ 非常用発電設備 (平成 18 (2006) 年設置) ・ 空調設備 平成 17 (2005) 年設置	C C —

庁舎等評価基準

- A : 直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B : 数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C : 10 年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- : 必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(7) 阪南消防署北分署（旧阪南消防署）

位置：阪南市黒田２６４番地の１

建築年：昭和５２（１９７７）年

敷地面積：２，４８５．１４㎡

延べ床面積：１，０７７．４７㎡

構造：鉄筋コンクリート造２階建

整備方針：補修、修繕により維持管理を行い、将来的には現在地での建て替えを検討

目標時期：組織改編時（南西分署を署に改編）



現在の庁舎は市街地にあり、消防需要は高い。

広域消防運営計画に基づき南西分署が建設されたことや管内の署所の配置状況を踏まえ、また経過年数からも建て替えを検討する必要があるが、その場合には規模の縮小も検討する必要がある。

阪南消防署北分署（旧阪南消防署）

区分	点検・診断状況	評価
建築	（庁舎） ・ 屋上防水（陸屋根） 防水改修（平成 26（2014）年） ・ 外壁（吹付け仕上げ） 基礎コンクリひび割れ（一部） ・ 外部建具（オーバースライダー 2 基（平成 28（2016）年 度設置、シャッター 4 基） ・ 内壁 経年劣化（ひび割れ、塗装剥離多数） 車庫内コンクリート擁壁 倒壊の危険 ・ 敷地内舗装 一部ひび割れ ・ 玄関基礎 床割れ （訓練塔 R C 造） ・ 基礎コンクリ一部ひび割れ	— C C B A B B —
設備	（庁舎） ・ 受変電設備 著しい経年劣化（昭和 52（1977）年設置） ・ 非常用発電設備 経年劣化（平成 3（1991）年設置） ・ 空調設備 随時交換実施	A B —

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- ：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(8) 阪南消防署（旧阪南消防署南西分署）／訓練塔

位置：阪南市桃の木台1丁目1番地の1

建築年：平成30（2018）年

敷地面積：4,000.37㎡

延べ床面積：1,639.88㎡／387.71㎡

構造：鉄筋コンクリート造3階建／鉄筋コンクリート造5階建

整備方針：長寿命化を図りながら維持管理



広域消防運営計画に基づき阪南市と岬町の境界付近の消防力の充実強化のために建設された庁舎で、管内南西部の拠点としてその必要性は高い。

将来的には社会情勢などを考慮し、他拠点との統合の可能性を含めて検討する。

阪南消防署（旧阪南消防署南西分署）

区分	点検・診断状況	評価
建築	(庁舎)	
	・ 屋上防水（陸屋根）	—
	・ 外壁（タイル張り）	—
	・ 外部建具（オーバースライダー 2 基、シャッター 1 基）	—
	(訓練塔)	
	・ 屋上防水（陸屋根）	—
	・ 外壁（コンクリ打ち放し）	—
設備	・ 外部建具（シャッター 1 基）	—
	(庁舎)	
	・ 受変電設備（平成 30（2018）年設置）	—
	・ 非常用発電設備（平成 30（2018）年設置）	—
	・ 空調設備	—

庁舎等評価基準

- A：直ちに補修・改修が必要と判断する。
- B：数年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- C：10年以内に補修・改修が必要と見込まれ、継続的な点検による判断が必要である。
- ：必要に応じ点検などを実施し、補修・改修の判断をする。

(9) 高機能消防指令センター

位置：泉佐野市りんくう往来北1番地の20

整備年：平成28（2016）年

整備方針：消防広域化後の平成28（2016）年度から運用を開始している同センターの更新も庁舎改修等に併せて、更新を検討する必要がある。



消防指令センターの一般的な更新期間は10年とされていることから平成28（2016）年整備の同センターの更新を検討する必要がある。

更新に際しては、設置スペースが庁舎整備に大きく関わることから、本計画における個別計画と併せて検討するものとするが、費用などを含む具体的な更新計画は別に計画する。

【注釈】

各施設の状態等の記載中、整備方針にかかる記載内容は、平成29年3月に実施の「泉州南消防組合常備消防力適正配置調査報告書」の内容を踏まえたものです。将来の移転・改築時等の位置、規模等については今後策定の「泉州南消防組合消防力適正配置計画」を基に、より災害対応が充実するよう、また、社会情勢、消防需要を踏まえ関係各所と調整のうえ検討していくものします。

第3章 施設への対策

1 対策の内容

第2章で示した対策の優先順位の考え方と施設の状態等を踏まえ、施設毎の対策内容・実施時期・対策費用を次のとおり示します。対策の費用は概算費用を示します。

消防本部・泉佐野消防署 改修計画 (費用合計 404,273 千円) (単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
非常用自家発電設備・蓄電池設備点検	点検（保全）		点検					
			1,287					
オーバースライダー4基	更新			工事				
				34,229				
受変電設備（非常用回路） 3期6年	更新		設計	工事1期	設計	工事2期	設計	工事3期
			1,694	48,370	1,017	46,738	949	60,152
非常用発電設備	更新			設計	工事			
				1,084	127,521			
蓄電池設備	更新					設計	工事	
						880	77,360	
空調設備	改修		工事					
			2,992					
計			5,973	83,683	128,538	47,618	78,309	60,152

泉佐野消防署日根野分署 改修計画

(単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
		該当事項なし						
計								

泉佐野消防署上瓦屋出張所 改修計画 (費用合計 2,640 千円)

(単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
オーバースライダー 1 基	更新		工事					
			2,640					
計			2,640					

泉佐野消防署空港出張所 改修計画

(単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
	該当事項なし							
計								

泉南消防署 改修計画 (費用合計 36,793 千円)

(単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
非常用発電設備	更新			工事				
				16,459				
受変電設備	更新		工事					
			10,060					
庁舎外壁改修	補修						工事	
							10,274	
計			10,060	16,459			10,274	

泉南消防署砂川出張所 改修計画

(単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
	該当事項なし							
計								

熊取消防署 改修計画 (費用合計 2,787 千円)

(単位：千円)

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
訓練塔	補修			工事				
				2,787				
計				2,787				

阪南消防署北分署（旧阪南消防署）
 改修計画
 （費用合計 39,760 千円）

（単位：千円）

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
車庫内コンクリート擁壁	撤去（保全）		工事					
			803					
受変電設備	更新		工事					
			4,323					
非常用発電設備	更新			工事				
				34,155				
玄関タイル	補修						工事	
							479	
計			5,126	34,155			479	

阪南消防署（旧阪南消防署南西分署）
 改修計画

（単位：千円）

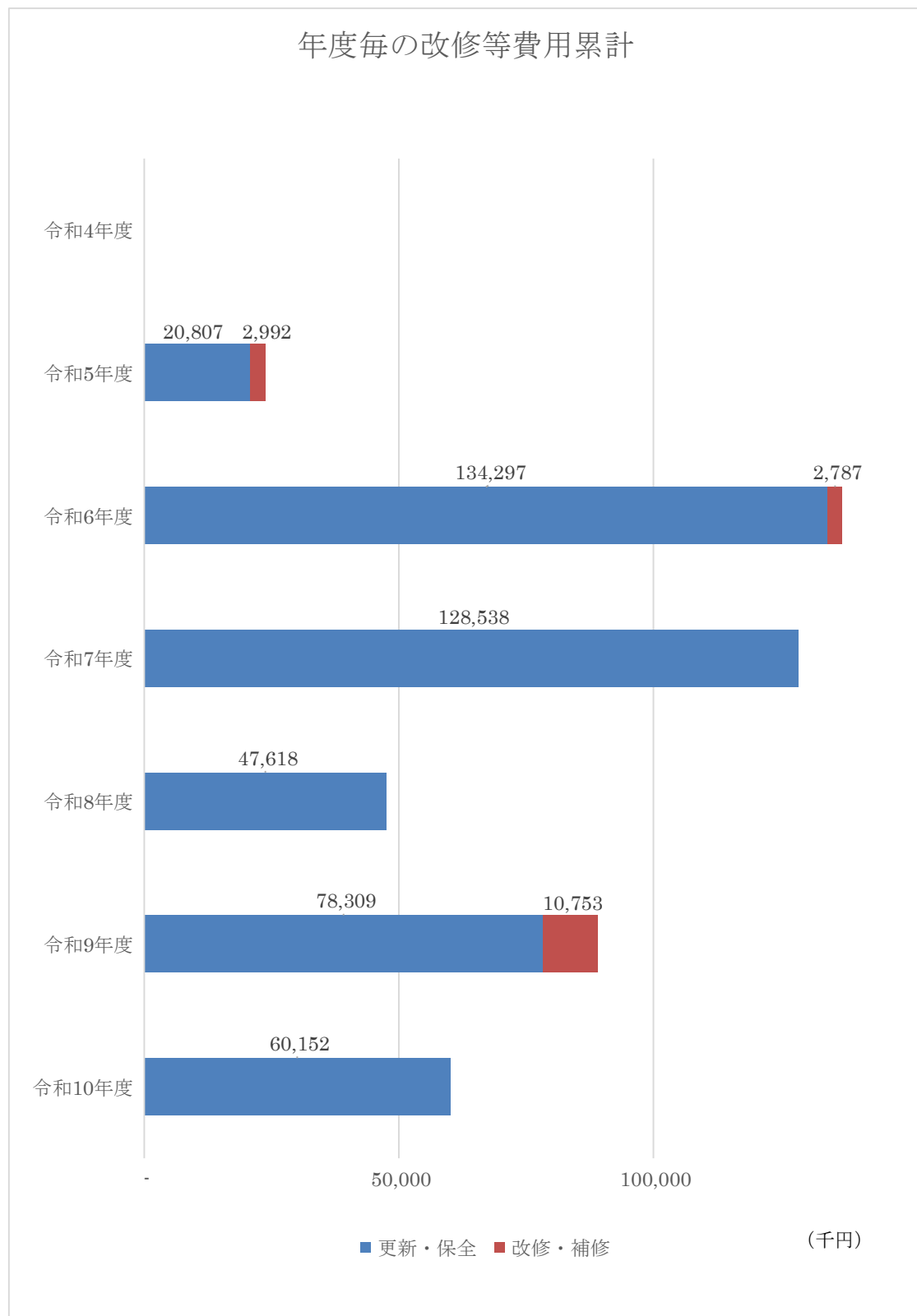
	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
	該当事項なし							
計								

高機能消防指令センター
 改修計画

（単位：千円）

	対策内容	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
	別途計画							
計								

2 年度毎の改修等費用累計



【改訂履歴】

改訂日	改訂内容	備考
令和5年12月14日	下記、2項目を追加 1. 組織改編に伴うもの 2. ユニバーサルデザイン化 の推進に関する記載	該当頁 4頁